

- 1 本書は『日本近世生活絵引』の第6巻である。
- 2 本書は①「琉球人行粧」巻一写<sup>うつし</sup>（鹿児島県立図書館蔵）〔請求記号:k2992-カ〕・②「琉球人行粧」巻二（鹿児島大学附属図書館蔵）〔玉里文庫・番外の部 5034〕・③「琉球人往来筋脈之図」（同館）〔同前 5035〕を、それぞれ8・19・13の場面に区分し、主題を示すタイトルを付け、描かれた事物・行為に番号を振り、それらを表現する「一般名詞」を付した。また、場面全体の概要を読み取った解説文を付した。
- 3 絵図の画像は、①は神奈川大学非文字資料研究センター撮影によるポジフィルム、②・③は鹿児島大学附属図書館蔵のポジフィルムより作成した高精細画像データを用いた。
- 4 各画像は拡大・縮小されており、原図の大きさとは一致しない。
- 5 各画像内の事物・行為に付した番号は、絵巻の進行に合わせて基本的に右から左へと付けた。
- 6 行為を示す語彙には番号に□を付けた。
- 7 描かれた事物・行為に付けた語は、概ね以下の基準に従った。
  - (1) 原則として事物単体および個別行為に名称を付けた。
  - (2) 名称は現在の日本語を基本とした。
  - (3) 推測・想像による語彙の付与はできるだけ避け、内容判別の難しい事物・行為は解説文で説明した。
  - (4) ある程度判明しつつ、確定に至らなかった事物・行為には「？」を付けた。
  - (5) 判明・確定に至らなかった事物・行為は「不明」とした。
  - (6) 画像内に書かれた文字にはアルファベットを付け、判読した。アルファベットは絵巻の進行に合わせ、基本的に右から左へと付けた。
- 8 各場面の解説文は、執筆者名を文末に括弧書きで記載した。本書の編纂は共同研究の方式で行われ、執筆者の原案を研究参加者全員で検討した。
- 9 「解題と考察」は、各執筆者が本書編纂（共同研究）の過程で得た知見に基づき執筆した。
- 10 「付録」には、本書校正中に所在が確認された「琉球人行粧」巻一の原本の画像と解説文を収録した。
- 11 巻末に、本書I-IVの編纂のため参考とした文献を、参考文献目録として収録した。また本書において参考文献を典拠として用いる際には〔編著者+西暦（+ページ数）〕で表記した。
- 12 巻末には、絵引の事物・行為に付した語彙の五十音順索引を付した。